

第4学年

国語科

【教科目標】

- 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話すことや話の中心に気をつけて聞くことができるようにするとともに、進んで話し合おうとする態度を育てます。
- 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てます。
- 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てます。

【評価の観点】

- 国語に対する関心をもち、進んで話し合ったり、適切に書いたり、読書の範囲を広げたりしようとする。
- 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気をつけて聞いたりする。
- 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書く。
- 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。
- 音声、文字、語句、文や文章、言葉づかいなどの国語についての基礎的な事項について理解している。書写では、文字の大きさ、配列、毛筆では、点画の接し方、交わり方、方向、文字の組み立て方などを理解して文字を正しく書く。

【学習予定】

学期	学習すること
前期	<ul style="list-style-type: none"> ○こわれた千の楽器（物語） ○ふしぎ/よかったなあ（詩） ☆漢字辞典の使い方を知ろう（漢字） ○知らせたい、あんなことこんなこと ☆主語と述語の関係をとらえよう（ことば） ○ヤドカリとイソギンチャク（説明文） ☆漢字の読み方に気をつけよう（漢字） ○夏のわすれもの（物語） ☆ローマ字1（ことば） ☆読書のまど 四年生の本だな ○「くらし百科」の時間です ☆ローマ字2（ことば）
後期	<ul style="list-style-type: none"> ○世界一美しいぼくの村（物語） ○心の目を開いて（ことば） ○ウミガメのはまを守る（説明文） ☆文と文をつなぐことばの働きを考えよう (ことば) ○活動ほう告を書こう ○くらしの中の和と洋（説明文） ☆漢字を正しく使おう（漢字） ○ごんぎつね（物語） ○一年間の思い出をしょうかいしよう ☆ローマ字3（ことば）
年間	<ul style="list-style-type: none"> 書写 読書